

久留米工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	政治・経済	
科目基礎情報							
科目番号	1201			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	材料工学科(2016年度以前入学生)			対象学年	2		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	『政治・経済資料 2 0 1 7』東京法令出版(教科書)						
担当教員	藍澤 光晴						
到達目標							
①民主主義の基本原則について理解できるようになる。 ②日本国憲法の基本原則、日本の政治機構などについて理解する。 ③現代経済のしくみを基礎的な経済理論の観点から理解し、国民経済の動向および、政府の役割と日本経済が抱える課題を考える力をつける。 ④自らの意見を理論的に説明する能力を身につける。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		民主主義の本質を理解したうえで自らの意見を的確に述べることができる。		民主主義の本質を理解できる。		民主主義を構成する語彙を理解できていない。	
評価項目2		日本国憲法の成り立ちと本質を理解で、自らの意見を述べることができる。		日本国憲法の基本原則を理解できる。		日本国憲法の基本原則を理解できない。	
評価項目3		経済学の基本的な知識をいかして自らの経済状況について意見を論述できる。		経済学の基本的な知識を理解している。		経済学の基本的な知識を理解できていない。	
評価項目4		戦後日本経済の歩みを理解し、今後の経済状況について自らの意見を表明できる。		戦後日本経済の歩みを理解しできる。		戦後日本経済の歩みを理解しできない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		広い視野を持ち、民主主義の本質への理解を深め、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解し、公正な判断力の涵養を目指します。前期では政治分野、後期では経済学分野を取り扱い、現代社会における政治、経済問題について主体的に考えられるようになりましょう。					
授業の進め方・方法		基本的には座学中心ですが、毎回授業終了時に小テストを実施します。小テストは皆さんの理解度の確認も兼ねていますので、次回の授業時に特に良かった答案を紹介しながら復習を兼ねて解説を行うようにします。					
注意点		成績評価は前期後期各試験の点数を平均して算出する。60点以上が合格とする。 なお追再試は行うこともある。					
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	イントロダクション				
		2週	国家と法			主権を理解する	
		3週	民主主義の成立			民主主義の歴史を理解する	
		4週	社会契約説とは			ロック、ルソーの社会契約論について理解を深める	
		5週	世界のおもな政治体制			議院内閣制、大統領制などの政治制度の概要を理解する	
		6週	日本国憲法の制定			大日本帝国憲法の概要および日本国憲法成立までの過程を理解する	
		7週	日本国憲法の基本原則			日本国憲法の三大原則を理解する	
		8週	国民主権			国民主権とはなにかについて説明できる	
	2ndQ	9週	平和主義			憲法 9 条および前文について理解を深める	
		10週	基本的人権①			平等権、自由権を具体的な判例に基づいて理解する	
		11週	基本的人権②			社会権、参政権、請求権、新たな人権を具体的な判例に基づいて理解する	
		12週	国会と立法			国会の役割について理解する	
		13週	内閣と行政			内閣の役割について理解する	
		14週	裁判所と司法			裁判所の役割について理解する	
		15週	まとめ 政治分野の復習				
		16週	前期試験				
後期	3rdQ	1週	経済とは			経済について説明できる	
		2週	資本主義と社会主義			社会主義と資本主義経済の違いについて説明できる	
		3週	市場経済			市場の機能とその限界について理解できる	
		4週	経済成長と景気			経済成長率について理解できる	
		5週	資本循環と金融			金融の働きと機能について理解できる	
		6週	政府の経済活動と財政			財政学の基本的な概念を理解し、日本の財政状況について理解できる	
		7週	財政赤字と税制改革			同上	
		8週	戦後日本経済の展開			戦後日本経済の歩みを説明できる	
	4thQ	9週	日本経済の現状と課題			日本経済の現状を把握できる	
		10週	労働経済			労働経済の基本概念を理解できる	
		11週	社会保障			日本の社会保障について説明できる	

	12週	社会福祉	高齢化社会について自らの意見を説明できる
	13週	国際経済	グローバリゼーションとはなにか、説明できる
	14週	貿易と国際収支	比較優位説を理解できる
	15週	まとめ 経済分野の復習	
	16週	後期試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	工学実験技術(各種測定方法、データ処理、考察方法)	工学実験技術(各種測定方法、データ処理、考察方法)	物理、化学、情報、工学についての基礎的原理や現象を、実験を通じて理解できる。	3	
				物理、化学、情報、工学における基礎的な原理や現象を明らかにするための実験手法、実験手順について説明できる。	3	
				実験装置や測定器の操作、及び実験器具・試薬・材料の正しい取扱を身に付け、安全に実験できる。	3	
				実験データの分析、誤差解析、有効桁数の評価、整理の仕方、考察の論理性に配慮して実践できる。	3	
				実験テーマの目的に沿って実験・測定結果の妥当性など実験データについて論理的な考察ができる。	3	
				実験ノートや実験レポートの記載方法に沿ってレポート作成を実践できる。	3	
専門的能力	分野別の工学実験・実習能力	電気・電子系分野【実験・実習能力】	電気・電子系【実験実習】	直流回路論における諸定理について実験を通して理解する。	3	
				交流回路論における諸現象について実験を通して理解する。	2	
				半導体素子の電気的特性の測定法を習得し、実験を通して理解する。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0